

「中地域まちづくり」かわら版

～「地域のつながり・向こう三軒両隣」の絆を求めて～

発行者 大口町中地域自治組織
協働 大口町地域協働課

▽第12回大口町まちづくり協働フォーラム

～中地域で災害が起こったら～



令和2年1月25日（土）午後1時30分から大口町健康文化センター4Fほほえみホールで、NPO法人まちなえと大口と大口町主催の第12回大口町まちづくり協働フォーラムが開催され、中地域自治組織は第2部「みんなで話し合ってみよう～円卓会議のすすめ～」に参加しました。

「中地域で災害が起こったら」をテーマに、中地域自治組織役員と中地域内の余野区、垣田区、さつきヶ丘の各区長、大口西小学校長をはじめ、地域内で活動する各種団体代表などで円卓会議が進められました。

最初に、災害が起きた時、各種団体がかかえる課題を話し合いました。

- 青パトを活用すればライフラインが止まっても広報活動はできるかも。
- 災害時町職員が各地域に派遣されることは難しい。
- 要支援者（高齢者、障がい者）名簿登録者の3分の2は地域の支援がない。
- 新しい住民は「地震が来ても大丈夫な地域」を選択肢にするなど防災意識が低いのでは。新旧住民のつながりが重要。
- 会員は要支援者がほとんど。1人世帯は、特に女性が多い。名簿から外れている人もあるのでは。
- 町内で高齢率が2番目に高い地区。地区内の防災センターを3日間一時的に避難できるようにしている。高齢者、子ども優先。
- アンケート調査を実施。助けてほしい人が多く、助けてあげる人は3人だけ。災害時、揺れでドアや窓が開かなくなる。啓蒙活動として防災センターに行っている。

裏面につづく

大口町中地域にお住いの皆様へ
ご葬儀代がお得になる

町内契約あります!

平安会館 大口斎場
丹羽郡大口町余野3丁目1番
0120-250-400

詳しくは
お問い合わせ
ください

日中に在宅されているアナタが
街を守る「主役」!

高齢者福祉も、防災も、防犯も、
外国人の方々とのつながりも、
日頃からの積み重ねが大切です。
岩倉団地では、防災・防犯を通じて
高齢者と外国人がつながりました。

ちよこパト
防犯
自分の街は自分で守る
Produced by
シオン倶楽部
0587-51-0045

シオン倶楽部 0587-51-0045

○災害時の避難所である西小体育館。避難所をいつまで開放できるのか。早く学校を再開すれば、大人が日常を取り戻せるのでは。

などの各団体から課題があがりました。

続いて意見交換がありました。

○中地域自治組織の基本目標である「向こう三軒両隣」のように、災害が起きた時近所の人を受け入れできるようになるといい。

○通学ルート上にブロック塀や石碑など倒れそうなものがあり心配。大口西小学校の避難所に行くルートを知る必要がある。

○地域とかかわらない人にどう対応するのか。参加できる雰囲気づくりが必要。

○町では、各世帯で7日分備蓄を推奨している。

○ペット同伴の避難所問題。

など多くの意見交換がなされました。

円卓会議の取りまとめとして、中地域自治組織では、

・問題点を洗い出し、住民の意識向上

・各区長とのコミュニケーション

を目指します。



*各世帯で7日分の備蓄を心がけましょう。



この円卓会議を一時的なものにしないためにも、中地域自治組織は、今後とも地域内の各種団体とコミュニケーションを図り、災害に強い地域を目指しますので、皆様のご支援ご協力をお願いします。

◎第7回大口町中地域自治組織定期総会を開催します

日時 令和2年4月11日(土) 午前10時から

場所 さつきヶ丘防災センター

*傍聴席も準備しておりますので、多くの方のご参加をお待ちしています。

